

(3) 肝炎肝がん対策の推進 計画 P 48-49

《第3期大阪府がん対策推進計画における個別目標》

	個別目標	計画策定時の状況 【平成27（2015）年度】	現在の状況 【令和2（2020）年度】	2023年度の 目標
1	肝炎ウイルス検査累積受診者数 【大阪府調べ】	約55万人	約82万人	約109万人
2	肝炎ウイルス検査精密検査受診率 【大阪府調べ】	44.4%	53.5%	80%

現状・課題

◆肝炎ウイルス検査陽性者の重症化を予防することが肝がんの減少につながることから、肝炎ウイルス検査の陽性者への精密検査の受診勧奨、肝疾患診療連携拠点病院を中心とする医療提供体制の充実が必要。

本年度評価
概ね予定
どおり

本年度の
取組

《肝炎肝がんの予防、医療の推進》

- 肝炎ウイルス検査の陽性者に対しフォローアップを実施し、精密検査受診状況を把握するとともに精検未受診者に受診勧奨を実施。【R3年度陽性者：14人（R3.9末時点）】
- 初回精密検査費用助成制度の周知強化。【R3年度：35人（R4.2末時点）】
- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業にかかる指定医療機関の拡大。【93機関（R4.2末時点）】
- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業の実施。【累計：75人（R4.2末時点）】

《肝炎ウイルス検査の受診促進》

- 市町村に対して受診者数向上にかかる情報提供等を行い、各市町村における受診者数向上に向けた取り組みを支援・促進。 ※府保健所での検査はコロナのためR2.4～休止（R4.3末で廃止予定）
- 肝炎ウイルス感染の高リスク集団への働きかけ（健康コラム、健康サポート薬局と連携した啓発等）。

《肝炎肝がんに関する普及啓発の推進》

- 肝炎医療コーディネーターの養成（Web研修）。【R3年度：954人、累計2,259人】
- 肝炎医療コーディネーターの対象拡大（健康サポート薬局、患者団体）及び認定ピンバッジの作成・制度案内チラシの配布（見える化）、健康サポート薬局と連携した啓発〔再掲〕。
- 各関係機関にチラシの配付や広報への掲載依頼等を行い肝炎ウイルス検査の受診勧奨を実施。

今後の
取組予定

《課題》

- 肝炎医療コーディネーターの活動支援（養成促進、養成研修内容の充実）。
- 市町村及び職域との連携強化（特定市町村への働きかけ等）。 ■肝炎、肝がん患者の重症化予防の推進。

《次年度の取組》

- 肝炎医療コーディネーター等と連携した受診勧奨・肝がん・重度肝硬変治療促進事業等の制度周知。
- 陽性者のフォローアップの充実を市町村に働きかけ精密検査受診率の向上に取り組む。
- 肝がん・重度肝硬変治療促進事業の活用数増（同事業指定病院等との連携強化）。
- 重症化予防推進事業の推進（初回精密検査費用及び定期検査費用助成事業の活用数増）。

最終予算
(案)

肝炎ウイルス検査事業（41,467千円）、肝炎肝がん総合対策事業（19,817千円）、肝炎医療費等援助事業（566,507千円）